

第六拾壹號

明治十三年九月第四拾號布告酒造稅則左ノ通改正追加ス
但第三條改正ハ明治十六年十月一日ヨリ施行ス

第三條

免許ヲ受ケタル者ハ免許稅及造石稅ヲ納ムヘシ其額左
ノ如シ

酒造免許稅

酒造塙一箇所ニ付

金三十圓

酒類造石稅

一類壹石ニ付

金四圓

二類壹石ニ付

金五圓

三類壹石ニ付

金六圓

第四條二項三項

酒類製造新規願ノ者ハ造石高左ノ制限以上ニアラサレハ免許セス

濁酒 百石
清酒 拾石

一類 清酒濁酒 二類 三類 五石

新ニ酒造營業ヲナサントスル者ハ其地方同業者五人以上ノ連印ヲ以テ願出ヘシ

第五條

酒造營業人不在又ハ事故アル時ハ代人ヲ置キ此規則ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘシ

第十條二項

廢業ノ際未製成ノ酒類ヲ所持スル者ハ其節管廳ヘ申出檢査ヲ受ケ現石數ニ付納稅スヘシ

但未製成ノ酒類ヲ營業者ニ賣渡シ又ハ二箇所以上免許ノ者其一箇所以上ヲ廢シ尙存セル酒造場ヘ其酒類ヲ移ス時ハ管廳ヘ届出且製成ノ上檢査ヲ受クヘシ

第二十二條

他ノ依托ヲ受ケテ酒類ヲ代造シ又ハ酒造營業人ニ非ル者ニ酢及ヒ酒類ヲ製造スル爲メ酒造場ヲ貸スヲ許サス

第二十三條

檢査未済ノ酒類ヲ賣捌キ貸與讓與若クハ自家ノ所用ニ消費スルヲ許サス

第三十一條

檢査既済ノ酒類ヘ檢査未済ノ酒類ヲ混和スルヲ許サス

第三十二條

酒類石數ノ檢査ヲ受ケスシテ之ヲ賣捌キ又ハ貸與讓與シタル者ハ其代價ヲ追徴シ其酒類ノ石數ニ相當スル造石稅三倍ノ金額ヲ科スヘシ

但第二十一條但書ノ場合ニ於テハ此限ニアラス

第三十四條

酒類ヲ隱蔽シタル者ハ其酒類ヲ沒收シ其酒類ノ石數ニ相當スル造石稅三倍ノ金額ヲ科スヘシ

第十四條又ハ第二十條ノ届出ヲ怠リタル者第五條第七條第二十八條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第三十五條

第六條第二十五條第二十六條第二十七條ヲ犯シタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條ヲ犯シテ檢査ヲ受ケサル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其器械ヲ沒收ス

第三十六條

第十條第二項第二十一條第二十二條第二十三條第二項ヲ犯シタル者ハ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ニ處シ其製造酒類ヲ沒收ス之ヲ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴スヘ

但第二十三條第二項ノ酒類ハ総石數ヲ沒收ス

第三十七條

此規則ヲ犯シタル者ハ刑法ノ不諭罪及ヒ減輕再犯加

重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス但刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此限ニアラス

第三十八條

酒造營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタル時ハ總テ其營業者ヲ處罰ス

酒造稅則附則

第一條

自家用料ノ酒類(飲料ニ用ヒ醬油等ニ混和シ)ヲ製造スル者ハ管廳ヘ届出製造免許鑑札ヲ受ケ鑑札料金八十錢ヲ納ムヘシ

第二條 免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ以テ一期トス

第三條 自家用料ノ酒類ハ一家内ニ於テ一期製造高壹石
ハ二種以上製造スル者ヲ超ユルヲ得ス若シ之ヲ超ユル時
ハ總テ本則ニ從フヘシ
第四條 自家用料ノ酒類ハ其住居セル一家ノ外ニ於テ之
ヲ製造スルヲ得ス
第五條 自家用料ノ爲メ製造シタル酒類ハ之ヲ賣捌クヲ
得ス
第六條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者免許鑑札ヲ失却毀
損スルカ或ハ代替改名轉居セシ時ハ管廳ニ申出再渡又
ハ書換ヲ請フヘシ
第七條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者ハ主任官隨時之ヲ
検査スヘシ
第八條 第一條第三條第四條第五條ヲ犯シタル者ハ三圓
以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ犯罪ニ係ル物品及ヒ
器械ヲ沒收ス之ヲ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴スヘシ

第九條 此規則ヲ犯シタル者ニハ本則第三十七條及ヒ第
三十八條ヲ適用ス

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十七日

太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義

第六十二號

明治十三年九月第四十一號布告
釀造營業稅則左ノ通追加ス

第五條二項

釀造及ヒ仕込米諸帳簿倉庫納屋等主任官隨時之ヲ檢査スヘシ

第十二條

釀造營業場ノ中ニ於テハ酒類受賣釀造受賣酢造營業ヲ爲シ又ハ酒類除シテ製造スルヲ許サス

第十三條

第十二條ヲ犯シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ犯罪ニ係ル物品及ヒ器械ヲ沒收ス之ヲ賣捌キ

タル者ハ其代價ヲ追徴スヘシ

第十四條

此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス但刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此限ニアラス

第十五條

醫藥營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタル時ハ總テ其營業者ヲ處罰ス

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十七日

太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義

第六拾三號

明治八年十月第十五拾號布告烟草稅則別紙ノ通改定ノ來十六年七月一日ヨリ施行ス

但明治十年二月第拾四號布告第一項ハ廢止ス

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十七日

太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義

烟草稅則

第一章 烟草營業者ヲ分テ左ノ三種トス

第一條 烟草製造人

烟草仲買人

烟草小賣人

第二條 烟草刻煙草又ハ卷煙草等ヲ製造スル者ヲ烟草製造人トス但賃銀ヲ受ケテ他ノ製造人ノ烟草ヲ製造スル者ハ

此限ニ在ラス

第三條 未製造ノ烟草ヲ買入レ之ヲ製造人又ハ同業者ヘ賣渡シ及製造烟草ヲ買入レ之ヲ小賣人又ハ同業者ヘ賣

渡ス者ヲ烟草仲買人トス

第四條 製造烟草ヲ自用者ヘ賣捌ク者ヲ烟草小賣人トス

第二章 營業鑑札

第五條 烟草營業者ハ管轄廳ヘ願出營業鑑札ヲ受ク可シ但製造仲買及小賣ヲ兼業スル者ハ各其營業鑑札ヲ受ク

第五條	五匁	二厘	三厘	四厘
第十條	十匁	四厘	六厘	八厘
第十五條	十五匁	六厘	九厘	一錢二厘
第二十條	二十匁	八厘	一錢二厘	一錢六厘
第三十條	三十匁	一錢二厘	一錢八厘	二錢四厘
五十匁	二錢	三錢	四錢	
百匁	四錢	六錢	八錢	
第十四條	刻烟草ヲ玉造ニ爲ストキハ帶印紙ヲ以テ結束シ其封緘ノ箇所及印紙ノ彩紋ヘカケ製造人ノ印章ヲ以テ消印シ箱詰又ハ紙包ハ封緘ノ要部ニ印紙ヲ貼用シ製造人ノ印章ヲ以テ之ニ消印ス可シ	十五匁以下崩シ賣ニ爲ストキハ二厘ノ帶印紙ヲ以テ結束ス可シ	刻烟草ヲ玉造又ハ崩シ賣ニ爲ストキハ帶印紙ノ外他ノ紙類ヲ以テ之ヲ結束スルコトヲ得ス	外國へ輸出スル烟草ニ限リ輸出ノ節税關ニ於

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	帶印紙	第十八條	煙草印紙ノ種類價格左ノ如シ	テ戻稅トシテ印稅相當ノ金額ヲ輸出人ヘ下付ス可シ
黃綠色	濃青色	老綠色	橙黃色	桔梗色	淡紅色	茶褐色	淡青色	萌黃色	赭色	黃色	淡赭色	黑色				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一枚	二厘			
四錢	三錢	二錢四厘	二錢	一錢八厘	一錢六厘	一錢二厘	九厘	八厘	六厘	四厘	三厘					

同 同 紫色 赤色 同 六錢 八錢
第十九條 烟草印紙ハ管轄廳ノ許可ヲ得タル賣捌所ニ於
テ發賣セシム其他ニ於テ賣買スルコトヲ得ス
第二十條 印紙貼用ノ細則ハ布達ヲ以テ定ムル所ニ從フ
可シ
第五章 雜則
第二十一條 刻烟草ハ每個必ス製造人ノ氏名住所ヲ附記
ス可シ
第二十二條 烟草營業者ハ無印紙又ハ不足印紙ノ刻烟草
ヲ所持スルコトヲ得ス仕入出賣ヲ爲ス者モ亦同シ
第二十三條 烟草營業者ハ左ノ帳簿ヲ調製ス可シ其記載
方ハ布達ヲ以テ定ムル所ニ從フ可シ
烟草製造人
烟草仲買人

烟草買入帳 烟草賣渡帳
烟草小賣人 烟草買入帳
第二十四條 烟草營業者ハ管轄廳ニ願出印紙買入鑑札ヲ
受ケ印紙買入ヲ爲ス毎ニ其鑑札ヲ携帶シ印紙賣捌人ニ
示ス可シ
第二十五條 印紙賣捌人ハ印紙買受人ノ鑑札ヲ照査シテ
其賣渡高及買受人ノ氏名住所賣渡ノ年月日ヲ帳簿ニ登
記ス可シ
第二十六條 烟草營業者ハ烟草印紙ノ買受高其買入場所
及使用高ヲ帳簿ニ登記ス可シ
第二十七條 烟草買入高賣捌高製造高并印紙買入高及六月三
十日迄ノ烟草並印紙ノ現在高ヲ取調七月三十一日限管
轄廳ニ届出ツ可シ

第二十八條 印紙賣捌人ハ前年七月一日ヨリ其年六月三十日迄ノ印紙賣捌高并買受人ノ氏名住所ヲ取調七月三十一日限管轄廳ニ届出ツ可シ

第二十九條 烟草營業者ハ營業ノ標札ヲ戶外ニ掲出ス可シ但書式ハ布達ヲ以テ定ムル所ニ從フ可シ

第三十條 印紙買入鑑札ハ貸借賣買及讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 未製造ノ烟草ハ烟草營業者コアラサル者ニ賣渡スコトヲ得ス但貸與讓與ノ名義ヲ以テスルモ亦同シ

第六章 検査

第三十二條 烟草營業者ノ帳簿及其所持ノ烟草ハ主任官隨時之ヲ検査ス可シ

第三十三條 検査官吏ハ検査ノ時官ノ印章ヲ携帯シ營業者ノ求ニ應シテ之ヲ示ス可シ

第七章 罰則

第三十四條 營業鑑札ヲ受ケスシテ烟草營業ヲ爲ス者ハ營業稅通脱ニ係ル金高三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ現在ノ烟草ヲ沒收シ之ヲ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴ス

第三十五條 烟草營業者ニシテ無印紙又ハ不足印紙ノ刻印草ヲ所持シ又ハ賣渡シタル者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其賣渡代價ヲ追徴ス之ヲ貸與讓與シタル者モ同ク其罪ヲ論ス

第三十六條 帳簿ノ登記ヲ詐ヲ脱稅ヲ謀リ若クハ脱稅ノ便ヲ與ヘタル者又ハ届書ニ詐僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 烟草營業者コシテ無印紙又ハ不足印紙ノ刻印草ヲ買受ケタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス之ヲ借受讓受ケタル者モ同ク其罪ヲ論ス

第三十八條 第六條第十四條第十五條第二十一條第二十四條ニ違犯シタル者及第二十三條ニ違犯シテ帳簿ノ調製ヲ怠ル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ犯

罪ニ係ル烟草ハ之ヲ沒收シ之ヲ賣捌キタル者ハ其代價
ヲ追徴ス
第三十九條 管轄廳ノ許可ヲ得シテ印紙ヲ發賣スル者
ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其印紙ヲ沒收
ス之ヲ買受ケタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金處ス
第四十條 未製造ノ烟草ヲ烟草營業者コアラサル者ニ賣
渡シタル者ハ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十一條 第十三條ノ烟草裝置區分ニ違フ者ハ貳圓以
上貳拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其犯罪ニ係ル烟草ヲ沒
收ス
第四十二條 鑑札ヲ賣買貸借又ハ讓受讓渡シタル者及第
二十五條第二十六條ニ違犯シタル者ハ貳圓以上貳拾圓
以下ノ罰金ニ處ス
第四十三條 烟草自用者ニシテ未製造ノ烟草又ハ無印紙
ノ刻烟草ヲ買受ケタル者ハ壹圓以上壹圓九十五錢以下
ノ科料ニ處ス

第四十四條 第八條第九條第二十七條第二十八條ノ届出
ヲ怠リタル者及第二十九條ニ違犯シタル者ハ壹圓以上
壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
第四十五條 第二十三條第二十九條ニ依リ定メ
タル布達ニ違犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下
ノ科料ニ處ス
第四十六條 此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不諭罪及滅
輕再犯加重數罪併發ノ例ヲ用ヒス
第四十七條 烟草營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ
此規則ヲ犯シタルトキハ其營業者ヲ處罰ス

第六拾四號

明治十一年五月第八號布告株式取引所條例中左ノ通改正追加ス

第三十三條 取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ取引所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トシ其者ノ證據金及ヒ身元金ヲ以テ償ハシメ其者ヲ除名スルニ止ルヘシ而シテ仍ホ其損失ヲ償フコト能ハサルトキハ取引所ニ於テ其責ニ任スヘシ

第四十條 賣買主ニ於テ諸證據金ノ差入レテ怠リ又ハ期限ニ至リテ其約定ヲ履行セサル者ハ都テ之ヲ違約人ト爲スヘシ

第四十九條 官員検査ノ節取引所役員及ヒ仲買人等簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辯ヲ爲サハル者アルトキハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

第五十條 取引所ノ規約ニ背犯シタル役員及ヒ株主仲買人ヲ取引所限リ處分スルハ芝ヲ除名スルカ或ハ過怠料ヲ取立ツルニ止ルモノトス

但其過怠料ハ株金身元金ノ高ニ超ユルヲ得ス

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十七日

太政大臣 三條實美

農商務卿 西鄉從道

第六拾五號

米商會所并株式取引所仲買人納税規則左ノ通制定シ來十六年四月一日ヨリ施行ス

- 第一條 米商會所株式取引所仲買人納税規則ヨリ各約定代金高千分ノ五ヲ納税スヘシ
- 第二條 株式取引所株式仲買人公債證書并諸株式ノ定期賣買ヲ爲ストキハ賣買雙方ヨリ各約定代金高千分ノ一ヲ納税スヘシ
- 第三條 第一條第二條ノ場合ニ於テ定期内ニ轉賣又ハ買戻ヲ爲ス者ハ其轉賣又ハ買戻ニ係ル税ヲ免除ス
- 第四條 株式取引所金銀貨仲買人金銀貨ノ取引ヲ爲ストキハ賣買雙方ヨリ各其取引代金高千分ノ二半ヲ納税スヘシ
- 第五條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其税金ハ之ヲ還付セ

第六條 税金ハ會所又ハ取引所ニ納ムヘシ
第七條 會所及取引所ハ仲買人ヨリ納メタル税金ヲ每一箇月取纏メ翌月十日限リ地方廳ニ上納スヘシ
第八條 税金徴收ノ方法ハ大藏卿ノ達ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
第九條 大藏卿ハ地方廳ニ委任シ又ハ隨時官吏ヲ派出シ納税ノ精算ヲ檢査セシムヘシ
第十條 税金ヲ納メスシテ買取引スル者ハ脱税高三倍ノ罰金ニ處ス但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許ハ其効ヲ失フモノトス
第十一條 前條ノ罰金ハ仲買人ノ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權ヲ有スヘシ
第十二條 會所及取引所ニ於テ本則納税ノ取締ヲ怠ルトキハ米商會所條例第十九條第一節株式取引所條例第四十八條及本年第四十六號布告ニ依リ處分シ仍ホ其資本金ヲ以テ納税ノ欠額ヲ追徴スヘシ
右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月廿七日
太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義
農商務卿 西鄉從道

第六拾六號
明治九年八月百五號布告米商會所條例第十條第三節中約定代金高十分ノ二トアルヲ十分ノ一ト改メ第十五條第一節中賣買手数料總金高十分ノ四トアルヲ十分ノ二ト改ム但來十六年四月一日ヨリ施行ス
右奉 勅旨布告候事
明治十五年十二月廿七日
太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義
農商務卿 西鄉從道

第六拾七號

明治十一年九月第三拾號布告株式取引所稅額ノ備手數料
其他現收セル總金高十分ノ一トアルヲ賣買手數料總金
高十分ノ一ト改ム但來十六年四月一日ヨリ施行ス
右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月廿七日

太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義
農商務卿 西鄉從道

第六拾八號

明治十三年四月第拾五號布告同年十一月第四拾九號布告府
縣會規則中左ノ通追加改正ス

第六條 二項

出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキ

第三十一條

府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ
府縣會ハ毎年度三月ヨリ於テ之ヲ開ク其開
閉ハ府知事縣令ヨリ之ヲ命ス會期ハ三十日以内トス
但區部郡部會ヲ開ク地方ヨリ於テハ七日以内延期スル
コトヲ得

第三十二條

通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキ
府知事縣令ハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ七日以
内トス但該會ヲ要スル事由ヲ直ニ內務卿ニ報告スヘ

第三十三條

二項 四項

府縣會ニ於テ若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス
又ハ會期內ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ府知
事縣令ハ更ニ其議定ヲ要セス內務卿ニ具狀シ其認可
ヲ得テ之施行スルコトヲ得
第一項ノ場合ニ於テ內務卿ハ府縣會ヲ停止スルコト
ヲ得而シテ更ニ開會ヲ命スル迄ノ間ハ府知事縣令ニ

於テ地方税ノ經費豫算及徴收方法ヲ定メ内務卿ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得

第三十七條 常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序及豫備費ノ支出ニ付府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述フ

常置委員ハ地方税ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徴收方法ヲ議決シ退テ府縣會ニ報告スルヲ得

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十八日
太政大臣 三條實美
内務卿 山田顯義

第六拾九號
明治十三年四月第拾六號布告地方税規則中左ノ通追加改正ス

第三條 二十項
一豫備費豫算外ニ生レタル事件ノ費逸

第四條 二項
地方税ヲ以テ支辨スヘキ事件數年々期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取リ府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年期間之ヲ施行スルコトヲ得

第五條 二項
前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取リ其補充費ヲ徴收スルコトヲ得

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月廿八日
太政大臣 三條實美
内務卿 山田顯義
大藏卿 松方正義

第七拾號
府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルコトヲ許サス其集會スル者何等ノ名義ヲ以テスルモ府知事縣令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルトキハ直ニ解散ヲ命スヘシ前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサルモノハ集會條例第十三條ニ依テ處分ス
右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月廿八日
太政大臣 三條實美
内務卿 山田顯義

第七拾壹號
明治十四年十月第五拾三號布告裁判所管轄表中東京始審裁判所管内日本橋本郷淺草四谷品川ノ各治安裁判所ヲ廢シ管轄區畫左ノ通改定ス

治安裁判所名	管轄郡區
京橋區	日本橋區 京橋區
芝區	芝區 麻布區 赤阪區 荏原郡 東多摩郡
麴町區	麴町區 四谷區 牛込區 小石川區 本郷區 南豐嶋郡
下谷區	神田區 下谷區 淺艸區 南足立郡 北豐嶋郡

本所區
本所區 深川區 南葛飾郡

右奉 勅旨 布告 候事

明治十五年十二月二十八日

太政大臣 三條實美
司法卿 大木喬任

第七十貳號

明治六年五月百第七拾八號布告ヲ廢止ス

右奉 勅旨 布告 候事

明治十五年十二月二十八日

太政大臣 三條實美

第七拾三號

憲兵卒其職務ニ關シ罪ヲ犯シタル時ハ官吏犯罪ノ例ニ
照シテ處斷ス

憲兵卒ノ職務ニ對シ罪ヲ犯シタル者ハ官吏ニ對スル犯
罪ノ例ニ照シテ處斷ス

右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十八日

太政大臣三條實美
陸軍卿大山 巖
司法卿大木喬任

第七拾四號

備荒儲蓄金及區町村會若クハ水利土功ノ集會ニ於テ評
決シタル土木費ニ關シ不服アリテ出訴セヨトスルモ
ハ都テ明治十五年五月第貳拾貳號布告ニ依ルヘシ
右奉 勅旨布告候事

明治十五年十二月二十八日
大藏卿松方正義
太政大臣三條實美

第三拾號

明治九年二月朝鮮國、取結ヒタル修好條規第五款ノ旨
趣ニ從ヒ兩國人民通商ノ爲メ朝鮮國ニ於テ開クヘキ二
港ノ内京畿道仁川開港相成候條明治十六年一月以後該
港へ渡航通商スルヲ得ヘシ
但該地渡航ノ者ハ明治九年十月第百貳拾八號第百貳拾
九號布告ニ從フヘシ

右布達候事

明治十五年十二月廿八日

太政大臣 三條 實美
外務卿 井上 馨

第壹號

明治十四年十二月第六拾三號布告褒章條例ニ依リ褒章ヲ
賜フヘキ者又ハ公益ノ爲メニ金穀財産等ヲ寄付シタル
者ハ金銀木杯若シハ金圓ヲ賜ヒ又ハ褒章ト金銀木杯金
圓ヲ併セ賜フコトアルヘシ

右奉 勅旨布告候事

明治十六年一月四日 宋 敬大臣三條實美

拾陸

公債證書

貳拾五圓

丙二號

四四登五番

壹枚

福井縣士族南部金次郎所有ノ處邸配名三自宅ニ於テ
紛失ノ旨届出候條以後右證書一切取引ヲ爲ス可テス且其
所在見聞者ハ速ニ管轄廳へ訴出管轄廳ヨリハ即當省へ
可届出此旨告示候事

明治十六年十月三十一日

大藏卿 松方正義

號

七萬八千九百七拾貳圓四拾五錢也

負債方法ニ據リ支消セシ紙幣并損傷紙幣之合計ニ
於テ月十五日ヨリ同廿一日マテニ當省印刷局構内ニ於テ
計檢査院官吏立會燒棄候條此旨告示候事

明治十六年十月廿九日

大藏卿 松方正義

住島根縣令

朽木縣令藤川爲親

兼任朽木縣令

福島縣令三島通庸

右之通本月三十日

宣下相成候條此旨告示候事

明治十六年十月卅一日
朽木縣令三島通庸代理

朽木縣大書記官片山重範

甲 第十一號

管内各町村戸長月俸左之通相定本年二月ヨリ施行候條
此旨布達候事

明治十六年一月廿九日

栃木縣令藤川爲親代理
栃木縣大書記官 片山 重範

庶

十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	十六等	十七等
三十圓	廿五圓	廿圓	十五圓	十二圓	十圓	九圓	八圓

乙第六號

戶長役場

明治十二年本縣乙第七十四號達中但書ヲ剛除候條此
旨相達候事

明治十六年一月廿九日

栃木縣令藤川爲親代理
栃木縣大書記官片山 重範

庶

甲第三號

那須郡勸業第四區內倉骨村ノ議自今同第五區ノ組織
候補此旨有違候事

明治十六年一月十八日

栃木縣令藤川爲親代理
栃木縣大書記官 片山 重範

甲 第四號

客年十一月中郡須郡内へ新置セル三島村ノ義學區ハ同
郡第三學區へ編入分校一ヲ置キ衛生區ハ第七衛生區
へ勸業區ハ勸業第五區へ編入候條此旨布達候事

明治十六年一月十九日
栃木縣令 藤川 爲親代理
栃木縣大書記官 片山 重範

甲第五號

明治十三年本縣甲第貳百八號布達部分木仕付願心得書
第三條中以下ヲ未滿ト改メ左ノ但書ヲ追加ス此旨布達
候事

但山願反別登町步未滿ト雖モ其接續地ヲ合レ登町步
以上ト爲ルモノハ第二條ニ據ルヘシ

栃木縣令藤川爲親代理

栃木縣大書記官 片山 重範

明治十六年一月十九日

告第一号

和歌山縣西牟婁郡結川村戸長役場へ備置之地所及建物
公証割印帳明治七年二月ヨリ同十二年六月迄ノ分紛失
候旨届出候條右ニ關係アルモノハ明治十六年二月廿八
日迄ニ該役場へ可申出其日限ヲ過申出サルモノハ一切
關係ナキモノトシ公証爲取計候旨該縣ヨリ照會有之候
條此旨告示候事

栃木縣令藤川爲親代理

明治十六年一月十八日 栃木縣大書記官片山重範

庶

告第二號

明治十五年八月廿九日給與

第貳百四十七號

本縣巡查

一手帖

壹冊

安藤又三郎

但本縣ノ印章押捺有之

一呼子笛

壹個

全

人

本年一月八日安藤郡多田宿ニ於テ遺失

前書ノ通遺失候旨届出候條該品携帯徘徊候者有之節ハ最
寄警察署へ可届出此旨告示候事

栃木縣令藤川爲親代理

明治十六年一月二十日

栃木縣大書記官片山重範

第貳號

明治十四年十月第五拾三號同十五年六月第貳拾八號布告各
裁判所ノ位置及管轄區畫別表ノ通改定シ始審裁判所支
廳ハ本廳同一ノ權限ヲ以テ裁判セシム但明治十六年二
月一日ヨリ施行ス

右奉 勅旨布告候事

明治十六一月十日

太政大臣三條實美
司法卿大木喬任

大										京		東		控訴											
訴										控		千		橫		東京		本廳		始					
前橋										浦和		栃木		水戸						支廳		審			
										熊谷		宇都宮		下妻		八王子									
下田	静岡	太田	高崎	前橋	大宮	熊谷	浦和	宇都宮	栃木	下妻	土浦	水戸	八日市場	千葉	八王子	小田原	横濱	本所區	下谷區	麴町區	芝區	京橋區	治安府縣國名		
										武藏		下野		常陸		安房		相模				東京府		國名	
伊豆	駿河	上野			武藏		武藏總	下野		常陸總	常陸總	常陸總	安房總	上總	下總	相模	武藏			武藏		區郡名			
那加加茂ノ内		新田 山田 邑樂			秩父		北足立		北埼玉		北相馬		新治		筑波		河内		上野		下妻		上野		
		庵原有渡 安部 志田 益津			東群馬 南北勢多 佐位 那波利根 吾妻		西群馬 ノ内 猪野川 以東		碓氷 南北 甘樂 片岡 綠野 多胡 西群馬 ノ内		猪野川 以西		新田 山田 邑樂		秩父		北足立 新庄 入間 高麗 南埼玉 北葛飾		北埼玉 比企 男衾 横見 大里 榛澤 菰羅		北埼玉 賀美 那賀		秩父		

[illegible]

裁 訴												控 阪 大											
福井						大津			岡山			神戸				大阪				宮			
小濱						彦根			津山			姫路				奈良				津宮		福知山	
富山	小松	金澤	敦賀	小濱	大野	福井	彦根	大津	津山	高島	玉島	姫路	本洲	明石	神戶	五條	奈良	堺	天王寺	中ノ島	津宮	福知山	
福井縣						滋賀縣			岡山縣			兵庫縣				大阪府							
加賀						近江			美作			播磨				大和				丹波		丹波	
上新川 婦負						滋賀 野洲 甲賀 栗太 蒲生 高島			全國十二郡			多可 加西 印南 神東 神西 飾東 飾西 佐用 穴栗 揖東 揖西 赤穂 加東 加古				宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				熊野 竹野 中興 謝加佐ノ内		天田 何鹿 加佐ノ内	
能美 江沼						神崎 愛智 犬上 坂田 伊香 西 東 淺井			上房 阿賀 哲多 川上 加陽ノ内			神戶區 八部 菟原 武庫川 邊有馬				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						大野			南條 今立 丹生 吉田 坂井 足羽			宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						遠大 飯						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						敦賀						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						三方						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						金澤 河北 石川						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						磯波						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						加賀						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						能美 江沼						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			
越前						上新川 婦負						宇智 吉野 葛上 忍海 高市ノ内				河内 泉 堀江 高安 志紀ノ内 丹北ノ内 大和 川北 大縣 河内 若江				豐島 能勢			

裁 訴 控 屋 古 名														審																											
安濃津				名古屋				高松		高知		德島		和歌山		金澤																									
岐阜		山田		上野		四日市		安濃津		豐橋		岡崎		一ノ宮		熱田		名古屋		九龍		高松		中村		高知		脇町		德島		和歌山		七尾		富山					
三重縣				愛知縣								高知縣		德島縣		和歌山縣		津石川縣																							
伊勢志摩		伊賀		伊勢		三河		尾張		讚岐		伊豫		土佐		阿波		紀伊		能登		越中																			
厚見 羽栗 武儀郡上		多氣 度會 南北 牟婁		全國 四郡		桑名 員部 朝明 三重		飯野		河曲 鈴鹿 奄藝 安濃 飯高 一志		八名 北設樂 寶飯 渥美		額田 碧海 幡豆 西 東 加茂		丹羽 葉栗 中島		知多 愛知ノ内		名古屋區 西 春日井 海東 海西 愛知ノ内		那珂 多度 三野 豐田 鶴足 阿野ノ内		大内 寒川 三木 山田 香川 小豆 阿野ノ内		宇摩 新居 周巾 桑村 越智		安藝 香美 長岡 土佐 吾川 高岡 幡多		名東 名西 勝浦 那賀 海部 板野		美馬 三好 麻植 阿波		和歌山區 伊都 那賀 名草 海部 有田 日高 東 西牟婁		珠洲 鳳至		鹿島 羽咋		下新川	

控 崎 長										所判 裁 訴 控 島 廣										所 判																																																																							
福岡			長崎							鳥取		松江		山口			廣島		岐阜																																																																								
小倉	久留米		嚴原	佐賀					米子		西郷					尾道																																																																											
小倉	久留米	福岡	嚴原	唐津	佐賀	福江	平戸	島原	長崎	米子	鳥取	西郷	今市	松江	萩	赤間關	岩國	山口	尾道	三	廣島	高山	御嵩	大垣																																																																			
福岡縣			長崎縣							鳥取縣		松江縣		山口縣			廣島縣		岐阜縣																																																																								
筑前	豐前	筑後	筑前	對馬	肥前		肥前	肥前	伯耆	伯耆	因幡	石見	出雲	出雲	長門	周防	長門	備後	備後	安藝	安藝	飛騨	美濃																																																																				
遠賀	鞍手	全國十郎	上里下里	福區	席田	柏屋	宗像	穗波	早良	嘉麻	西松浦	小松浦	西彼杵ノ内	基肄	養父	三根	神崎	佐賀	北松浦	南松浦	長崎區	北高來	東彼杵	西彼杵ノ内	汗入	會見	八橋	日野	河村	久米	全國八郡	安濃	神門	出雲	楯縫	飯石	大原	意宇	能義	秋鹿	島根	仁多	赤間關區	厚狹	豐浦	大津	阿武見島	熊毛	大島	玖珂	美濃	都濃	佐波	吉敷	蘆田	安那	神石	深津	品沼	沼隈	三谿	奴可	三上	三次	惠蘇	御調	甲奴	世羅	廣島區	沼田	安藝	佐伯	山縣	高宮	加茂	豐田	全國三郡	賀茂	可兒	土岐	惠那	安八	池田	大野	海西	上下	石津	多藝	不破	本巢	席田

[illegible]

院												
所 判 裁 訴 控 館												
根 室		札 幌					函 館					
										八 戸		
厚 岸	根 室	岩 内	小 樽	増 毛	浦 川	札 幌	壽 都	福 山	江 刺	函 館	八 戸	
根 室 縣		札 幌 縣					函 館 縣					
釧 路	根室千島北見	後志	北天見	日高	十勝	石狩	後志	渡島	後志	渡島	渡島	渡島
全國七郡	斜里 網走 常呂 紋別	古宇 岩内	小樽 余市 利尻 禮文 高島 忍路	宗谷 六郡	全國七郡	札幌區 全國九郡 虻田 有珠 室蘭 幌別 勇拂 白老 千歲	島牧 壽都 歌來 磯谷	松前	久遠 太櫓 瀬棚 奥尻	檜山 爾志	山越 龜田 上磯 茅部	三戸 上北ノ内

訴 裁 判 所													
山 形				盛 岡				秋 田					
新 山		米 澤		酒 田		磐 井							
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄	
新 山		米 澤		酒 田		盛 岡		宮 古		秋 田		本 庄</	

第三號

始審裁判所ニ於テ重罪裁判所ヲ開ク時ハ當分ノ內始審
裁判所長ヲ以テ其裁判長ト爲スコトヲ得
但沖繩縣札幌縣根室縣ノ儀ハ従前ノ通タル可シ

右奉 勅旨布告候事

明治十六年一月十日

太政大臣三條實美
司法卿大木喬任

第四號

米商會所様式取引所ノ限月若クハ現場買買ノ方法ニ倣
ヒ又ハ之ニ類似ノ方法ヲ用ヒ諸物品ノ買買取引ヲ爲シ
タル者及情ヲ知テ賣買取引ノ場所ヲ給與シタル者若ク
ハ其賣買取引ヲ誘助シタル者ハ總テ明治十三年四月第貳
拾壹號布告ニ據リ處分スヘシ

右奉 勅旨布告候事

明治十六年一月十五日

太政大臣三條實美、
農商務卿西鄉從道

第壹號

明治十二年七月內務省甲第拾號布達ヲ以テ小笠原島へ移
住寄留等差止置候處自今移住寄留候儀皆カラス
右布達候事

明治十六年一月二十日

太政大臣 三條實美
內務卿 山田顯義

甲第壹號

一 道德之原理 第九千九百五十三號板權免許証
右者島根縣平民山口松五郎所有候處客年十一月廿四日
東京府下神田區南佐柄木町於テ遺失候趣届出候ニ付其
所在見聞候者ハ速ニ管轄廳へ可申出尤該証ハ無効ニ屬
シ候條此旨告示候事

明治十六年一月十一日 內務卿 山田顯義

甲第二號

明治十五年十二月二十五拾八號布告ニ據リ請願スル書面ハ
美濃紙ヲ用ヒ正副貳通宛指出スヘキモノトス但シ其書
面ヲ却下スル場合ト雖副書ハ留置シテアルヘシ此旨告
示候事

明治十六年一月十七日 内務卿 山田顯義

往

告第壹號

今般大阪府下大阪第百二十六國立銀行鎖店處分トシテ
跡引受人左ノ人員へ申付候條該銀行貸借ニ係ル事件ハ
右跡引受人へ引合可申此旨告示候事

明治十六年一月九日

大藏卿松方正義

銀

大阪府平民

猪飼九兵衛

岐阜縣平民

杉山

茂

岐阜縣士族

小西

央

告第貳號

金祿公債證書

百圓 乙以號 六〇參九番 壹枚

右ハ熊本縣士族岩間國曆所有ノ處明治十五年四月廿九日自宅ニ於テ紛失ノ旨今般届出候條以後一切取引ヲ爲ス可ラス且其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ訴出管轄廳ヨリハ即當省へ可届出此旨告示候事

明治十六年一月十三日

大藏卿松方正義

告第三號

金祿公債證書

百圓 丙初號 壹九〇〇番 壹枚

右ハ滋賀縣士族佐曾羅九齊所有ノ處他人ノ手ヲ經テ京都府平民美浪半三郎方ニ於テ明治十五年八月廿六日ヨリ同年十月六日迄ノ間ニ紛失ノ旨届出候條以後右證書一切取引ヲ爲ス可ラス且其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ訴出管轄廳ヨリハ即當省ヘ可届出此旨告示候事

明治十六年一月十五日

大藏卿 松方正義

告第五號

新公債及金札引換公債證書ノ元金償還トシテ左ノ金額ヲ以テ來ル二月中抽籤施行ス

但當籤證書ノ種類記番號金高等確定ノ上ハ速ニ告示ニ及フヘシ

一金拾萬四百七拾五圓

新公債

一金貳萬五拾圓

六年發行金札引換公債

一金壹萬百圓

七年發行同上

一金貳萬圓

十三年發行同上

但抽籤配賦計算ノ都合ニヨリ總籤數若干ノ内尾籤壹本ハ金員不同ナリ且盜難紛失等ノ届アル歟或ハ發

見届アル歟ニテ債額ニ増減ヲ來タストキハ渾テ尾籤
ニ於テ計算ヲ修正スルニ付若尾籤當リノ節ハ本行金
額聊増減アルベシ

右告示候事

明治十六年一月十九日

大藏卿松方正義

告第六號

金祿公債證書

三百圓 丙條號 壹五參六番 壹枚

右ハ新潟縣士族荒井文三郎所有ノ處於自宅紛失ノ旨届
出候條以後右證書一切取引ヲ爲ス可ラス且其所在見聞
ノ者ハ速ニ管轄廳へ訴出管轄廳ヨリハ即當省へ可届出
此旨告示候事

明治十六年一月十九日

大藏卿松方正義

啓第一號

本年徵兵各軍管ニ於テ別表記載ノ人員徵集候條此旨告
示候事

明治十六年一月十二日 陸軍卿大山 巖

開帳不能

七軍管内		計
四	五	
九千二百八十四	九千二百八十四	計
八百七十六	八百七十六	
三百八十三	三百八十三	
百三十二	百三十二	
一万五千	一万五千	
三百〇六	三百〇六	
二十九	二十九	
不備令	不備令	
五十三	五十三	
八百二十四	八百二十四	
三百三十五	三百三十五	
百三十二	百三十二	
九千九百五十二	九千九百五十二	
超過スルモノハ近兵ニ撰	超過スルモノハ近兵ニ撰	
ハテ要スルハ常備隊中ヨ	ハテ要スルハ常備隊中ヨ	
ク補充スルヲ附ス故ニ常備	ク補充スルヲ附ス故ニ常備	

正誤

客年十二月廿九日付乙第八十五號ハ乙第八十六號ノ誤

乙第二號

各郡役所

戸長役場

管下那須郡烏山町士族元四等巡查心得星岩衛義去ル十年西南ノ役従軍負傷ノ廢ヲ以テ恩給金下賜相成候處木以失踪中ニテ居所不相分渡方差支候條詳細取調滞在等致居候ハ、來ル二月十八日限可届出此旨相達候事

明治十六年一月十二日 栃木縣令藤川爲親

乙第三號

各郡役所

戸長役場

本郡一月、郵便條例御發行相成從前ノ地方郵便被廢
候ニ付單ニ約束郵便ノ名號ヲ以諸般取扱候條此旨相達
候事

明治十六年一月十二日

栃木縣令藤川爲親

乙第四號

郡役所
戸長役場

今般徴發令及同事務條例公布相成候就テハ徴發令第八
條ニ從ヒ臨時徴發ニ可應便宜ノ方法豫定シ來ル三月三
十一日限リ戸長ハ郡長ヘ郡長ハ本縣ヘ届出ツヘシ且徴
發事務條例第二十一條ニ掲クル附錄第三號離形ニ掲載
スヘキ條件並ニ同例第廿五條ノ船舶表ハ毎年一月三十
一日限リ戸長役場ヨリ郡役所ヘ差出シ郡役所ニ於テハ
同例第二十一條ニ據リ表ヲ製シ船舶表ト共ニ二月廿八
日限リ本縣ヘ差出スヘシ此旨相達候事
但從前差出シ來リ候共武製表ニ係ル一月一日現在調

庶

ハ以來差出スニ及ハス

栃木縣令藤川爲親代理

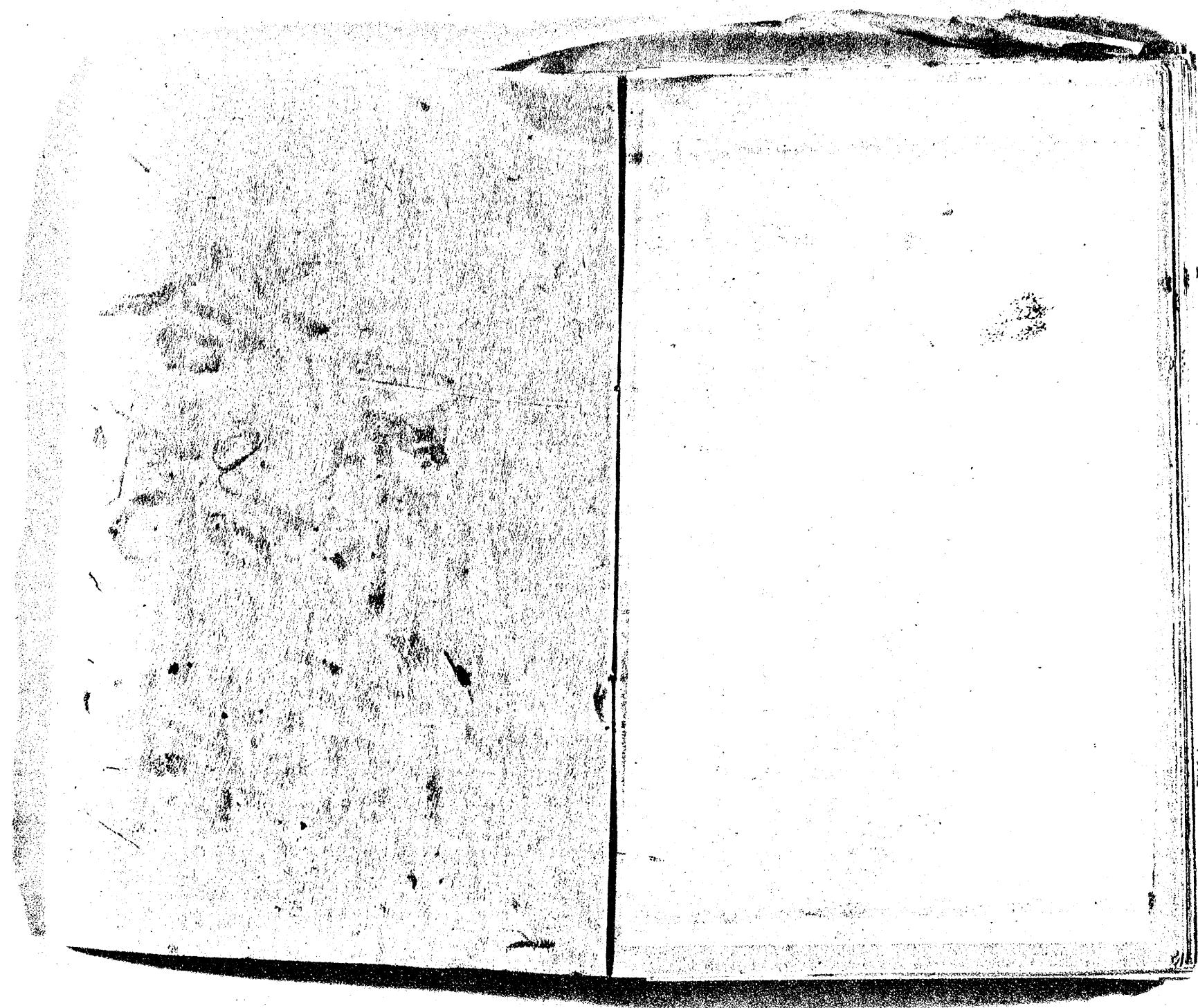
明治十六年一月十五日 栃木縣大書記官片山重範

甲第四號

客年十一月中那須郡内へ新置セル三島村ノ義學區ハ同
郡第三學區へ編入分校一ヲ置キ衛生區ハ第七衛生區
へ勸業區ハ勸業第五區へ編入候條此旨布達候事

明治十六年一月十九日

栃木縣令藤川爲親代理
栃木縣大書記官 片山 重範



給
用部
係村